

## モニタリング結果報告書

施設 津久井やまゆり園  
 指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会  
 施設所管課 障害福祉課

(平成21年度 上半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	月報により利用状況、職員配置状況を確認。
5月	6月10日	
6月	7月10日	
7月	8月10日	
8月	9月10日	
9月	10月9日	

## 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

## (1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

## &lt;提案内容の概要&gt;

- 強度行動障害対策生活支援事業の実施
- 生活支援の強化
- 地域生活への移行推進(ケアホームの設置)
- 医療的ケア支援事業の実施
- 障害者地域余暇活動支援事業の実施
- 地域交流等支援事業の実施
- 地域防災ネットワーク推進事業の実施
- 拠点施設機能育成事業の実施

## &lt;実施状況&gt;

- ケースワーカーと担当職員が養護学校や特別支援学級を訪問し、相談やケース等の情報交換を実施した。
- 担当職員、日中活動班職員、心理職員が定期的にカンファレンス等を実施し、利用者が落ち着いて生活できるよう支援体制の見直しを実施した。
- 平成21年8月にケアホーム事業(定員12名)を開始した。
- 地域の作業所等を訪問し、有資格者の看護師等による救命講習研修を実施した。
- 地域で生活する在宅障害児者を対象とした「ワクワクサークル」を実施した。また当園近隣に居住する障害児者及びその家族等に創作活動を楽しんでいただくため「わいわい創作活動」を実施した。
- 「地域コンサート」を実施し、地元千木良小学校生徒・近隣住民等が参加し交流を深めた。
- 相模原市及び地元自治会と防災に係る協力体制について協議を実施した。
- 認知障害や適応障害の為の支援方法、及び自立支援法について近隣施設・地域作業所等に対して研修会を実施した。

※「ワクワクサークル」では、在宅障害児者の余暇活動支援として、外出や園のゲストハウスを使用した調理実習を開催している。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	1,194,223	603,389	580,100	10,734	1,194,223	0
上半期計 (a)	663,256	299,101	360,731 (232,230)	3,424	548,918	114,338
下半期計 (b)						
4月	101,537	40,652	60,612 (38,705)	273	82,639	18,898
5月	98,637	40,652	57,306 (38,705)	679	81,883	16,754
6月	160,333	95,841	62,920 (38,705)	1,572	136,107	24,226
7月	106,196	40,652	65,244 (38,705)	300	82,681	23,515
8月	99,343	40,652	58,391 (38,705)	300	82,683	16,660
9月	97,210	40,652	56,258 (38,705)	300	82,925	14,285
合計 (a+b)	663,256	299,101	360,731 (232,230)	3,424	548,918	114,338

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・平成21年度新体系移行にあたり、収入を厳しく見込むとともに、報酬単価改正が決定しておらず、その分の収入増分に対する支出見込みをしていなかった。
- ・下半期に高額の備品購入を見込んでいることから、多額の収支差額を生んでいる。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況	修繕・増改築のため	(期首) 59,000 (期末) 59,000

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	871 人	878 人	△0.8%
下半期計 (b)	人	人	%
4 月	146 人	146 人	0.0%
5 月	148 人	144 人	2.8%
6 月	148 人	146 人	1.4%
7 月	150 人	147 人	2.0%
8 月	140 人	147 人	△4.8%
9	139 人	148 人	△6.1%
合計(a+b)	871 人	878 人	△0.8%

#### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

#### 5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4 月						
5 月	1		1			2
6 月						
7 月	1					1
8 月						
9 月	1					1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ ・	
職員対応	・利用者の入院時、個室・付添い・保険等についての職員からの説明に対し疑問が投げかけられた。 ・	来園時に改めて説明・謝罪を行う。誤解があったことが分かり確認し、改めて説明を実施し、理解を得た。
事業内容	・ ・	
その他	・ ・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
7月27日	日中活動中、コーヒの空き瓶に入れてあった粉石鹼を口に入れる。医師、看護師の指示の元、バイタルチェックを行い、牛乳を飲んでもらい通院する。完治する。保護者にも了解を得る。
7月27日	夜オムツ交換時に、夜勤職員が利用者の足の動きに違和感を覚え念のため通院。右大腿部骨折。原因不明。保護者へ連絡し、了解を得る。その後完治する。
8月7日	朝食時、箸の先端のわずかな一部分を自ら噛み誤飲。通院し、内視鏡にて箸を取り出す。経過観察のためそのまま入院するが特変なし。ご家族にも直ぐに連絡し了解を得る。その後異常なし。

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

平成21年度上半期についてはモニタリングの実施は無かった。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			

## 9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>今期は、津久井やまゆり園施設運営を開始し5年目を迎えた年度となった。また、4月に新サービス体系への移行に伴い、組織体制と支援の充実を図った。また8月には、津久井やまゆり園としては初めてのケアホーム「ほほえみ」「えがお」をオープンし、12名の利用者が地域生活を開始した。</p>
施設所管課	<p>在宅障害者への積極的な支援や地域における医療体制や防災体制の構築に取り組む等、地域の拠点施設としての役割を果たしていることは評価できる。</p> <p>当期には2つのケアホームを開設し、利用者の地域生活移行を実現した。今後もケアホームの設置等により、利用者の地域生活移行を積極的に進めて欲しい。</p>